

小田原 平塚・修善寺・柏久保正教会だより

2023年8月1日発行 第251号

КРЕСТЪ
クレスト
2023年8月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 070-5079-3408

E-mail: holyspiritodawara@gmail.com

教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

小田原正教会 HP: <http://odawara-orthodox.com/>

郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

ハリストス神よ、
われら つみ ゆる たの

我等の罪の赦しを待みて
なんじ まった ぜん せいぞう あが ほ

爾の全く善なる聖像を崇め讃めん。
なんじ じゆう いし じゆうじか のほ

爾は自由の意思にて十字架に昇り、
われら てき どれい すく ため

我等を敵の奴隷より救わんが為に



主 イイスス ハリストスの自印聖像のイコン

布に主の顔だけが描かれたイコンである。ハリストスの噂はシリアのエデッサにまで広がっていた。エデッサの王アブガルが病のとき、ハリストスが、自分の元まで来られない王のために、布に自ら顔を当ててできた肖像を王の使いに渡した。王はたちまち癒された。この自印聖像は10世紀にエデッサからコンスタンティノブルに移された。この出来事の記念日は8月29日(8月16日)である。

●五旬祭後第9主日聖体礼儀(第8調)・月例パニヒダ・聖歌練習会

8月6日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

使徒経: コリント前 128 端(3:9-17) 福音経: マトフェイ 59 端(14:22-34)



●頭栄祭(主の変容祭)代式祈祷・果実成聖

暦から一日繰り下げ

8月20日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

使徒経: ペトル後書 65 端(1:10-19)

福音経: マトフェイ 70 端(17:1-9)

●生神女就寝祭 聖体礼儀

暦から一日繰り上げ

8月27日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

使徒経: フィリッピ 240 端(2:5-11)

福音経: ルカ 54 端(10:38-42/11:27-28)



—頭栄祭—

果物を持参し成聖後ご家庭でお召し上がりください。

正教会にようこそ 29



典型的なイコノスタシス（アンティオキア正教会 主の変容聖堂 カナダ オンタリオ州）

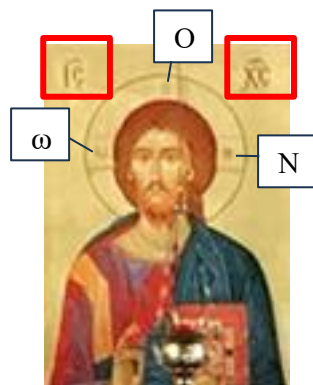
…アイコンをいくつか見てきたところで、目の前のイコノスタシス自体をよく見てみましょう。私たちがいる聖所とその先の至聖所の間にスクリーンのように、高さ3メートル程の木製の仕切りが立っているのが分かります。私たち側の面には大きなアイコンが端から端まで立ち並んでいます。そしてその中央には腰までの高さの二枚扉があります。これは「王門」とか「聖なる扉」などと呼ばれ、聖職者にだけ通過が許されています。ほとんどの聖堂にはこの門にカーテンが吊るされていて、祈祷中必要に応じて開け閉めされます。

左右の王門の扉にもアイコンが納まっています。これは生神女福音と呼ばれるアイコンで、生神女マリアの前に大天使ガブリエルが現れ、彼

女が息子を宿すことを告げる場面です(ルカ 1: 26-38)。左の扉のアイコンには天使ガブリエルがマリアに語りかけた姿が描かれていて、右の扉のアイコンには、マリアが赤い糸巻きを手を持ったまま天使ガブリエルの方を振り向いた瞬間が描かれています。この瞬間から全てが始まったのです。

私たちから見て王門右側のイコノスタシスのよく目立つアイコンはキリストのアイコンです。キリストのアイコンには、キリストの地上での生活、つまり洗礼や山での変容や磔刑など聖書の記述に従った様々な場面のものがありますが、イコノスタシスのこの位置に来るアイコンは必ずパントクラトルと呼ばれるキリストのアイコンです。パントクラトルとは「全てを治め

る者」を意味します。キリストの右手は私たちを祝福する形をして挙げられ、左手には大きな本を持っています。そこには「わたしは道であり、真理であり、命である。」というヨハネ/イオアン 14章6節の彼の言葉が記されています。そこに記されている言葉はこれに限らないのですが、必ず福音書に記された彼の言葉です。時には、本は閉じた格好で描かれています。これは表紙が美しく宝飾された福音書だけを集成した経典、宝座に安置され、祈祷中に用いられる「聖福音経」を表しています。



それからキリストの光輪についてです。光輪の内側には平行の二本線が、ちょうど十字の形になるよう三方向に引かれています。それぞれに文

字が一文字ずつあり、中央の文字は^{オミクロン}Ο(ο)、左側には^{オメガ}Ω(ω)、そして右側には^ニΝ(ν)が刻まれています。この文字はギリシャ語で、七十人訳聖書の中の出エジプト記3章14節に出てくる言葉です。モーセは「イスラエルの民が『モーセを遣わしたのは誰か』と人に尋ねられたら何と答えたらいいか」と神に尋ねました。神は「私は^オΩ^{オン}Νである。」と答えました。ほとんど翻訳不可能ですが、直訳すれば「私は^あ有って^あ有る者」とか「私は存在する者」という意味で

す。(ギリシャ語は名詞に格をつけます。ここでは、その格が抽象的なものではなく、はっきりと一人の男性を示すものであることが分かります。)この光輪の三文字がキリストの光輪に刻まれているということは、彼がかつてモーセに語りかけた神と同じ存在であることを示しているのです。実際に正教会は、旧約聖書の預言は全て、キリストの来臨を預言していると信仰しています。キリストの頭部の左側には I C X C という別の4文字があります。これも

した文字が記されています。また、生神女であれば、MP ΘΥと記されています。これは



^{メーテル}ΜΗΤΕΡ ^{トゥ}τὸν ^{セウ}ΘΕΟΥ、訳せば「神の母」という単語の綴りの頭文字です。聖人たちのアイコンであれば、やはり頭部の辺りに名前が記されています。聖書の場面も同じように場面の名称が記されます。これがアイコンであり、これがなければ宗教画とされます。ある日、私の友人がTシャツにアイコンをプリントするので、「文字は絶対に消してね」と言いました。そうしないと彼女は正教徒とすれ違うたびに十字を書いてお辞儀されてしまいますから。

最近の出来事・消息

小田原 五旬祭後第 6 主日聖体礼儀・信徒総会 7月16日(日)10時より、五旬祭後第六主日の聖体礼儀が行われました。ご祈祷後、副輔祭への祝福から数えて十年目を記念して、マカリイ山口幸夫・マカリイ神谷幸夫両副輔祭に教会から贈りものがされました。その後軽食を挟んで信徒総会を開催しました。詳細は 6 ページをご覧ください。委任状提出世帯には次号の会報に議事録と資料を同封いたします。

修善寺・柏久保 両教会とも全国公会のため、ご祈祷・集会はありませんでした。修善寺教会からは長年堂役と誦経のご奉仕をされているイオアン山田執事長とワルナワ野田執事が、約一年の学びを経て、7月9日(日)東京復活大聖堂にて誦経者に祝福されました。お二人とご家族の上に主の恩寵が幾年も賜いますことをお祈り致します。幾年も！

横浜 五旬祭後第 7 主日聖体礼儀・信徒総会 7月23日(日)、主日の聖体礼儀と信徒総会が行われました。信徒総会では年度末の会計報告と新年度の予算等が報告・提案されました。またコロナ期を通じて顕著となった信徒の奉仕活動の課題について執事会から提案がありました。慣例にとらわれず信徒が柔軟に積極的に活動できる方法を一人一人が考え、話し合う貴重な時間となりました。

教区 東京大主教教区会議・全国公会 東京大主教教区は6月25日、全国公会は7月8日(土)・9日(日)に東京復活大聖堂・ニコライ会館にて行われました。詳しくは次ページをご覧ください。

幾年も！ 7月9日(日)東京復活大聖堂にて、イオアン庄司将敏副輔祭(横浜)が、セラフィム大主教座下のオモフォルの下、輔祭に叙聖されました。自給輔祭として横浜教会で奉職します。幾年も！

永遠の記憶 ステファン 雨宮 正明兄 (柏久保 85 歳) 7月7日にご永眠されました。前晩パニヒダおよび埋葬式は11日と12日にJAハートフルメモリー修善寺にて執り行いました。長年柏久保教会の会堂修繕にご尽力下さった雨宮兄に永遠の記憶を賜いますことを心からお祈り申し上げます。

永遠の記憶 ダリヤ 廣石 フミ子姉 (小田原 91 歳) 7月14日にご永眠されました。前晩パニヒダおよび埋葬式は7月17日と18日に小田原ハリストス正教会にて執り行いました。執事および婦人会役員を務められました。廣石フミ子姉に永遠の記憶を賜いますことを心からお祈り申し上げます。



2023 年東京大主教教区 教区会議 (6月25日撮影)

小田原からミハイル神谷忠明執事長、ユリヤ廣石明美執事、横浜からシメオン齋藤行教区財務部長、ニコライ青柳廣執事長、ゲオルギイ高橋昇執事、オリガ生田目良子執事が、修善寺からイオアン山田亨執事長が管轄司祭ディミトリイ田中仁一と共に出席した（小田原・ディミトリイ日比野正男執事と柏久保・タラシイ三田睦男執事長は欠席・委任は欠席・委任。）議事はダニイル府主教座下が入院で不在の中、宗務局長のコンスタンティン栴田神父様が議長代理として例年通りの順序で進められた。

新年度の教区会議で最も注目すべき案件は教団財務諮問委員会報告において検討されてきた教団納付金800万円減額のための外部収入源獲得（収益不動産物件取得）である。教団が主導して積極的に財務改革を進めてきた結果ともいえる。本件は通常公会での承認を得るのみとなった。

また、教区会議の日に大聖堂で行われる聖体礼儀に、各地方教会の聖歌奉仕者によって構成された教区合同聖歌隊が左列詠隊として聖歌の奉仕をした。今回30人近くのメンバーの内1/3が新メンバーとなり、この日の為に4回ニコライ会館に集まって練習した。当日は、普段からご奉仕されている大聖堂教会の聖歌隊を右列に緊張したとの感想もあったが、練習の成果が発揮されて立派に奉仕を務めることができた。

ダニイル府主教座下は6月29日のご退院直後にも関わらず公開議長としてセラフィム大主教座下とともに積極的に議事に参加された。今年度通常公会の議事内容は例年とは異なり、第二日目（7月9日）の議案に「教団事業計画案」が新設された。教区会議で言及された教団納付金800万円減額のための収益不動産物件取得が宗務総局長より報告され、全会一致で承認された。

この 9 日の聖体礼儀にて、修善寺のイオアン山田亨兄とワルナワ野田幹太兄がセラフィム大主教座下により誦経者に祝福された。そして横浜教会のイオアン庄司将敏副輔祭が輔祭に叙聖された。また、パウエル及川信長司祭がミトラ^{はいよう}佩用祝福。イヤコフ篠永眞司祭とミハイル対中秀行司祭が長司祭に昇叙された。そして、パウエル中西裕一司祭が金十字架、カミラフカ、ナベドレンニク^{はいよう}佩用の祝福を受けた、札幌教会のイヤコフ篠永長司祭は7月15日から休職され、エルレム後藤司祭が管轄司祭になった。また、柳井原教会の管轄司祭はワシリイ杉村司祭からナファナイル小川司祭に交代した。また8月より、ニコライ小野成信修道司祭（ポドヴォリエ）の日本正教会移籍が公会にて発表された。

2023 年度（令和 5 年）小田原ハリストス正教会 信徒総会

開催日：2023 年 7 月 16 日（日）

場所：小田原ハリストス正教会 信徒会館

議長：ディミトリイ 田中 仁一神父 副議長：ミハイル 神谷 忠明 執事長

1. 定足数（世帯数）確認 （過半数出席で成立）

総数 42 件のところ、出席：14 件 委任状：16 件 合計 30 件により成立

2. 開会祈祷・開会宣言 田中神父による祈祷および開会の宣言

3. 信徒総会役員選出

副議長：執事長 ミハイル 神谷 忠明兄

書記：ユリヤ 廣石 明美

議事録署名人：タチアナ 山口 ノブ子姉

4. 開会のことば 田中神父より

- ・ダニイル府主教様が体調不良により自宅療養中のため、教区会議は欠席となった。
- ・教団を取り巻く状況は安泰でなく、今後も困難が続くことが予想される。
- ・教団は常に合議で物事を決めることがより大切になる。
- ・常に正教のクリスチャンであることを示すためにも「思いやりのある言動」を心がけましょう。

5. 2022 年度小田原ハリストス正教会強勢おび活動報告 田中神父より報告

- ・平塚教会について：コロナ禍の影響もあり、平塚教会として活動ができない状況が続いたため、名称をなくすことが提案され、平塚教会信徒の賛否をとって賛成。このことが教団から認められた。これにより、平塚教会信徒 38 名は小田原教会の信徒となった。
- ・2022 年度は永眠者が多数であった。

6. 2022 年度小田原ハリストス正教会決算報告 会計ディミトリイ日比野正男兄より報告

7. 会計監査報告 会計監査 マカリイ山口幸夫兄、マカリイ神谷幸夫兄より報告

8. 2023 年度小田原ハリストス正教会活動計画（質疑・承認）

9. 2023 年度小田原ハリストス正教会予算（案）（質疑・承認）

10. 2023 年度会計監事選出

次の 2 名を選出し承認：マカリイ山口幸夫兄・マカリイ神谷幸夫兄

11. 執事会役員の任期について

執事の任期を 2 年から 3 年に変更し、3 年任期の責任役員と合わせる。（承認）

12. その他

長期にわたり会計を担当していただいているディミトリイ日比野正男兄より、退任希望の発言があった。総会時には後任候補が決まらなかったため、候補者選定および移行の期間を設定し引継ぎを行うこととする。尚、移行期間は後日設定する。

13. 閉会のことば 田中神父より閉会宣言

滞りなく議事を進めることができ感謝します。

今年の夏の暑さは尋常でないため体調に留意し、感謝の日々を過ごしましょう。

14. 閉会祈祷

2023 年 7 月 16 日

書記：ユリヤ 廣石 明美



8月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
1日	オリガ	神谷 和子	2005年	神谷 忠且
4日	ペトル	渡辺 邦雄	1995年	渡辺 和枝
5日	トリフォン	山本 勝五郎	1917年	山本 保
5日	ウエラ	加藤 八重子	1979年	加藤 宏
6日	モイセイ	渡辺 銀次郎	1912年	渡辺 宏
7日	エウドキヤ	中島 八重子	1952年	岡野 康子
9日	サモン	渡辺 紫郎	1979年	渡辺 宏
10日	エレナ	日比野 キク	1944年	日比野 正男
11日	フェクラ	廣石 キヨ	1973年	廣石 和子
11日	ニーナ	澁谷 道子	2022年	渋谷 直樹
13日	イリナ	日比野 貞子		日比野家
14日	ペトル	荒井 久作	1969年	荒井 譲
14日	ニーナ	長澤 ニイナ	1980年	
15日	ルカ	中島 栄吉	1978年	中島 康雄
16日	ディオニシイ	廣石 祐一	1977年	廣石 真太郎
17日	イリナ	山口 良子	1923年	山口 晃
21日	フィリップ	日比野 勇	1944年	日比野 勇
21日	ロマン	中島 信一	1994年	岡野 康子
24日	ソサンナ	樋口 ユリ子	1918年	樋口家
31日	オリガ	阿久津 貞子	1925年	阿久津 八重子
4日		内藤 富美子	1963年	内藤 直樹
5日		川崎 俊夫	1990年	川崎 晃

今月は第1週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。

献金報告

7/16 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
7/2	神谷 幸夫副輔祭	パニヒダ献金
7/13	神谷 淳一兄	パニヒダ献金
	小島 紀二兄	会報献金
	町田 眞佐子姉	感謝献金
	山本 順平兄	パニヒダ献金
	安達 紀彦兄	パニヒダ献金
7/16	村松 伸子姉	降誕祭献金

日付	氏名	摘要
7/16	村松 伸子姉	復活献金
7/16	廣石 清子姉	パニヒダ献金
	神谷 淳一兄	パニヒダ献金

婦人会献金会献金:

日付	氏名	摘要
7/16	廣石 清子姉	感謝献金

しゅくふく じょ せい しょうじょ
祝福・叙聖・昇叙

— 2023年7月9日(日)東京復活大聖堂 —



誦經者祝福を受ける様子



中西神父、金十字架、カミラフカ、
 ナベドレンニク^{はいよう}佩用の祝福の様子



当日の主教祈禱による聖体礼儀を
 陪禱されたセラフィム大主教座下



祝福の後、堂役として奉仕する新誦經者の様子



対中神父、長司祭に昇叙の様子
 飾り十字架、パリツァ佩用祝福



叙聖されたばかりの
 イオアン庄司輔祭



【聖体礼儀を終えて記念撮影】 ミトラ佩用祝福を受けたパウエル及川長司祭(左)・長司祭に昇叙され休職されるイヤコフ篠永長司祭(中央)マルコ小池長司祭



【聖体礼儀を終えて記念撮影】 ダニイル府主教座下(中央)と誦經者イオアン山田兄(左)と誦經者ワルナワ野田兄(右)